

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

ロータリーの心で  
友情を深めよう

高田ロータリークラブ  
今年のスローガン

勇気と希望をもって、  
煌めくロータリーを



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

国際ロータリー会長 **ゴードンR. マッキナリー**

第2560地区ガバナー **米山 忠俊**

高田ロータリークラブ会長 **山田 守**

幹事 **吉田 巧**

広報・会報・雑誌委員会：  
細野仁・山本 陽・大島 誠・林 泰成

第 19 回例会 12 月 15 日(金)

No.19

会長挨拶 ●山田 守



先月の19日、「上越名人会」が開催され楽しんで参りました。第50回という事で半世紀続いた訳ですから、大変すばらしい会であります。私の一押しは落語家の柳家花緑です、この人は天才だと思っています。15歳で祖父柳家小さんに弟子入りして22歳で真打になっています。戦後最年少の真打です。彼はディスレクシア（失読症、難読症、識字障害）という病を持っています。文字の読み書きがうまくできないという事で、小中学では苦労したようです。ハリウッドの大スター、トム・クルーズ、キアヌ・リーブス、映画監督のスティーブン・スピルバーグ等も同じ病気のようなようです。何れも幼少の頃苦労されたようですが、病はあるものの一芸に秀でてるように思います。

出席報告

出席率 97.92%

ビジター・お客様スピーチ



第2560地区  
ロータリー財団委員会副委員長  
野崎喜一郎様

メイクアップ

飯塚宏佳君・細野 仁君：12/9次年度会長幹事研修会

幹事報告

配布物：会報No.18  
回覧物：ロータリー財団寄付額一覧(2023/11現在)  
報告：例会開催時の会費領収書名義について

会員卓話

「令和のハラスメント心得」

上越つばき法律事務所 原野聖子君



令和4年4月1日から、中小企業の事業主もパワハラ防止措置が義務化されました。社内のハラスメントについて、従業員の皆さんと考える機会としていただければと思います。

パワハラの定義は①優越的な関係を背景とした言動②業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの③労働者の就業環境が害されるもの、の全てを満たす行為です。ロータリークラブのみなさんの社内での言動は、基本的に①を満たしますので、「パワハラ」と言われたいために、従業員の方への指示や接し方には、配慮が必要です。

パワハラには該当しないけれども『「パワハラなのではないか」と相手や世間に思われてしまうこと』自体も、会社に不利益をもたらします。スマホの普及により、録音録画、拡散の可能性が高まっていますので、誤解されかねない言動は意識して避けるのが肝要です。

また、みなさん自身がパワハラ行為を行わなくても、使用者責任を問われることもありますし、ハラスメントのある職場は生産性が低下すると言われていますので、従業員の方が不適切な言動を行っていないか、今一度ご確認ください。

ハラスメント対策は、後ろ向きなイメージを持たれる方も多いですが、「より良い職場環境を作る」という前向きな視点で、取り組んでいただくことがポイントです。「この会社で働きたい」という人が集まってくる、活気のある職場作りには、トップの意欲が必須です。



本日のお食事  
ポークソテー

